

国土形成計画法第9条に基づく  
**近畿圏広域地方計画**

# 関西広域地方計画

---

**中間とりまとめ（素案）概要版**



国土交通省

# 関西の現状と課題（1）

- 関西は北は日本海、南は太平洋に面し、緑豊かな六甲山系、金剛・葛城山系等の山々や、美しい島並み景観を誇る瀬戸内海など、豊かな自然に恵まれている
- 京都、大阪、神戸の3大都市とその周辺都市に人口の約8割が集中

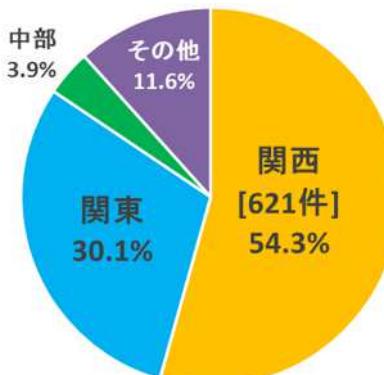


- 関西は古来より各所に都が置かれた歴史があり、長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積
- 我が国の世界文化遺産の21件の内6件、国宝の5割以上、重要文化財の4割以上を有するなど、歴史・文化資産が集積

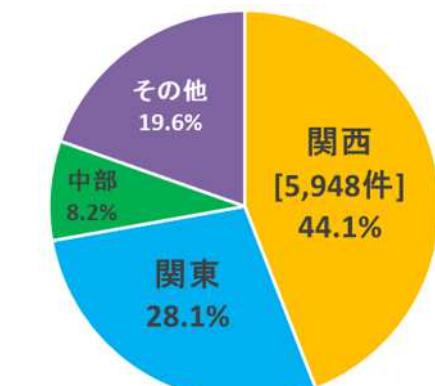
## ■世界文化遺産 6/21件

遺産名	所在地
法隆寺地域の仏教建造物	奈良県
姫路城	兵庫県
古都京都の文化財 (京都市、宇治市、大津市)	京都府・滋賀県
古都奈良の文化財	奈良県
紀伊山地の霊場と参詣道	三重県・奈良県・和歌山県
百舌鳥・古市古墳群-古代日本の墳墓群-	大阪府

## ■国宝 621/1,143件



## ■重要文化財 5,948/13,492件



出典：文化庁 注) 2024年10月1日現在

# 関西の現状と課題（2）

- 少子高齢化が進み、人口の伸び率は三大都市圏の中で最も低い

## ■ 関西の年齢3区分別人口構成比



出典：1980～2020年は総務省統計局「国勢調査」、2025～2045年は国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来人口推計」（令和5（2023年）推計）

## ■ 将来推計人口の伸び率

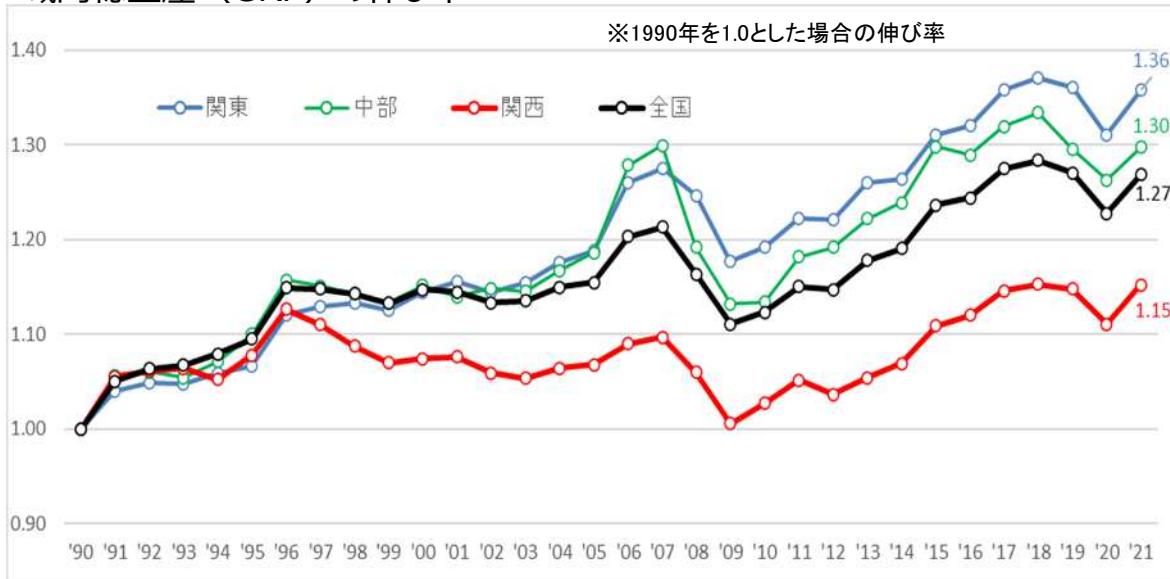


出典：国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来人口推計」（令和5（2023年）推計）

- 域内総生産（GRP）の伸び率は関東、中部より鈍く、全国平均より低い

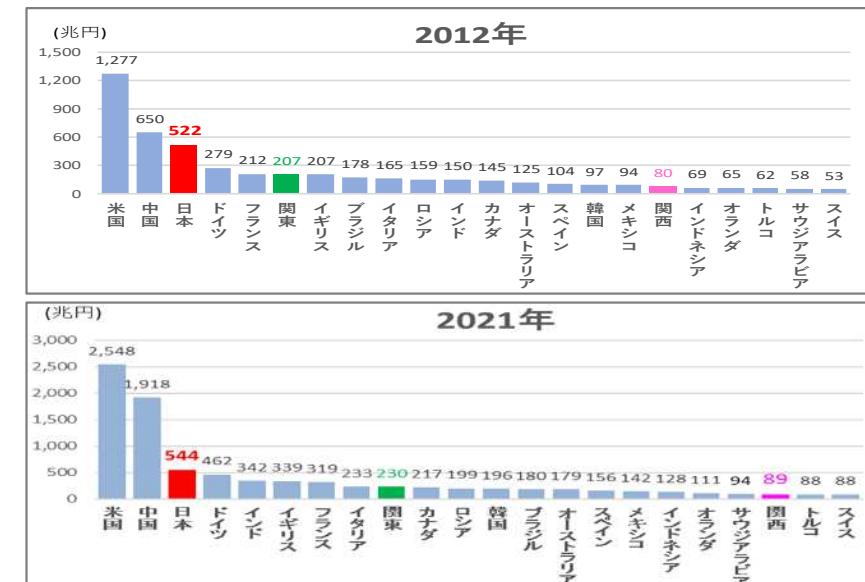
- 2021年の関西の経済規模（GDP）は、2012年と比較して高いものの、相対的な順位は下がっている

## ■ 域内総生産（GRP）の伸び率



出典：内閣府「県民経済計算年報」

## ■ 経済規模(GDP)の国際比較



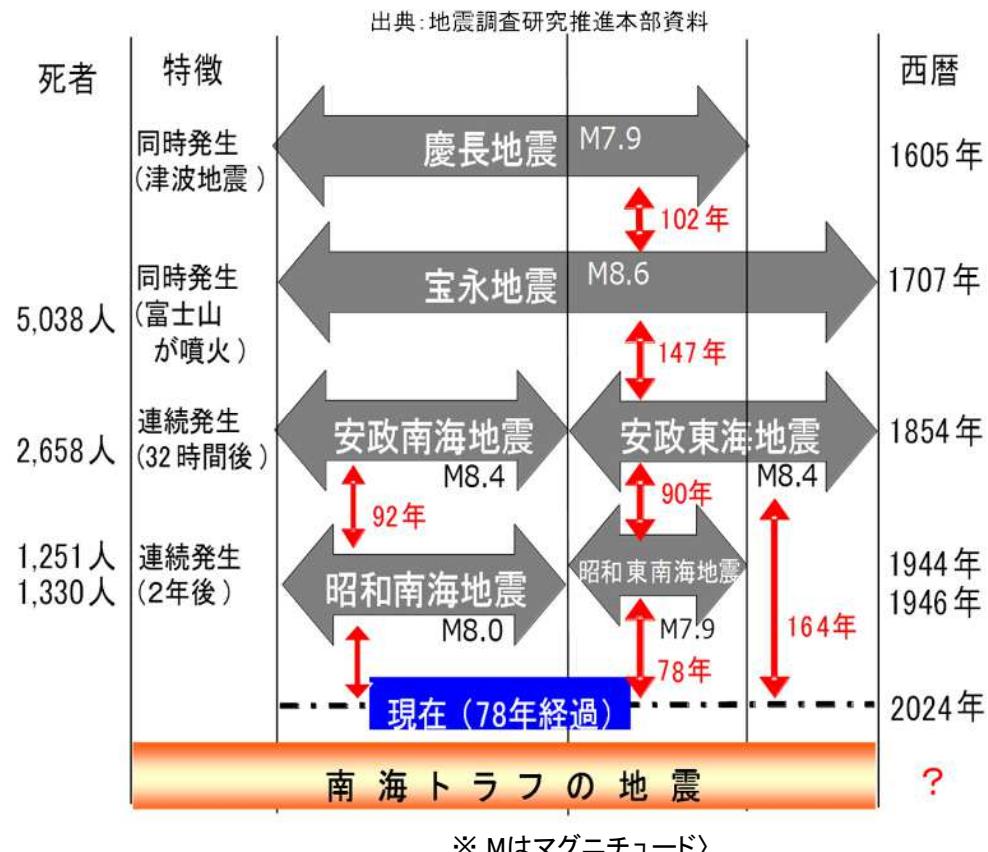
出典：世界各国はグローバルノート（IMF統計に基づく名目ベースのGDP）、日本、関西は内閣府「県民経済計算年報」

# 関西の現状と課題 (3)

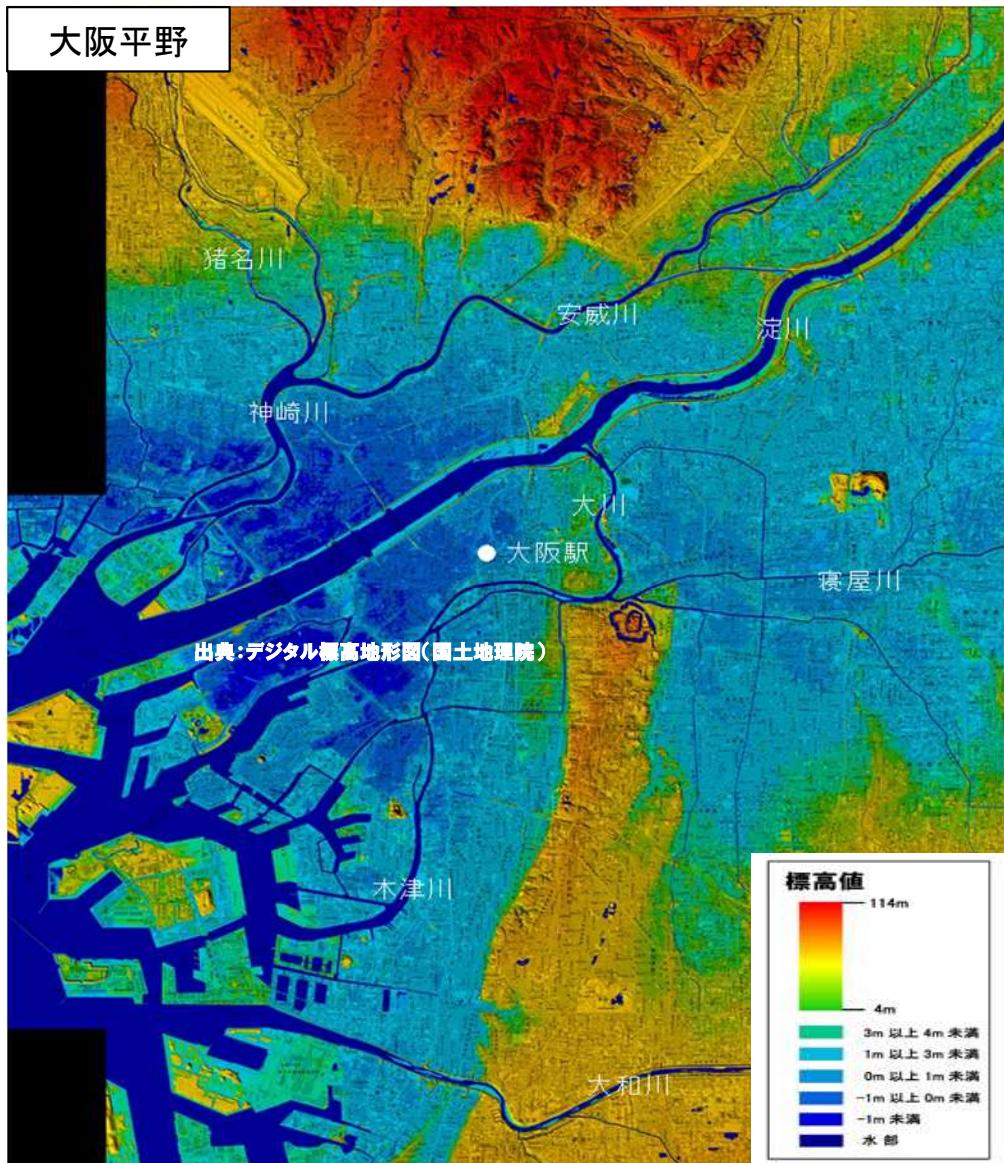
- 今後30年以内に70~80%程度の確率で南海トラフ地震の発生が危惧されている
- 大阪平野の多くは海拔ゼロメートル地帯で都心部は地下街も多く、水害リスクへの対応も課題

## ■南海トラフで発生する地震

地震の規模	M8~M9クラス
地震発生確率	30年以内に70~80%
平均発生間隔	88.2年



## ■大阪平野部の海拔ゼロメートル地帯



## 【キーコンセプト】 oooooooooooooooooooo

### 【将来像1】 挑戦し、成長する関西

- 日本中央回廊の西の拠点として、アジアを始め世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込むゲートウェイとなるシームレスで重層的な生活・経済圏域を形成し、国土の均衡ある発展や地域経済の活性化を実現する圏域
- 我が国の成長エンジンとなり、イノベーションを創出し続ける圏域

### 【将来像2】 豊かに誇り高く暮らせる関西

- 重層的でシームレスな地域生活圏を形成し、関西のどこに住んでいても快適で豊かに暮らせる圏域
- ライフサイクルの様々なシーンにおける魅力があり誰もが暮らしやすく、心身ともに健康的に、充実した時間を過ごすことができる圏域

### 【将来像3】 災害に屈しない強靭な関西

- 巨大災害リスク、インフラの老朽化リスク等に対応し、人々の生命・財産を守り、災害時にも社会経済活動を持続する圏域
- 東京一極に集中する諸機能のバックアップを担い得る圏域

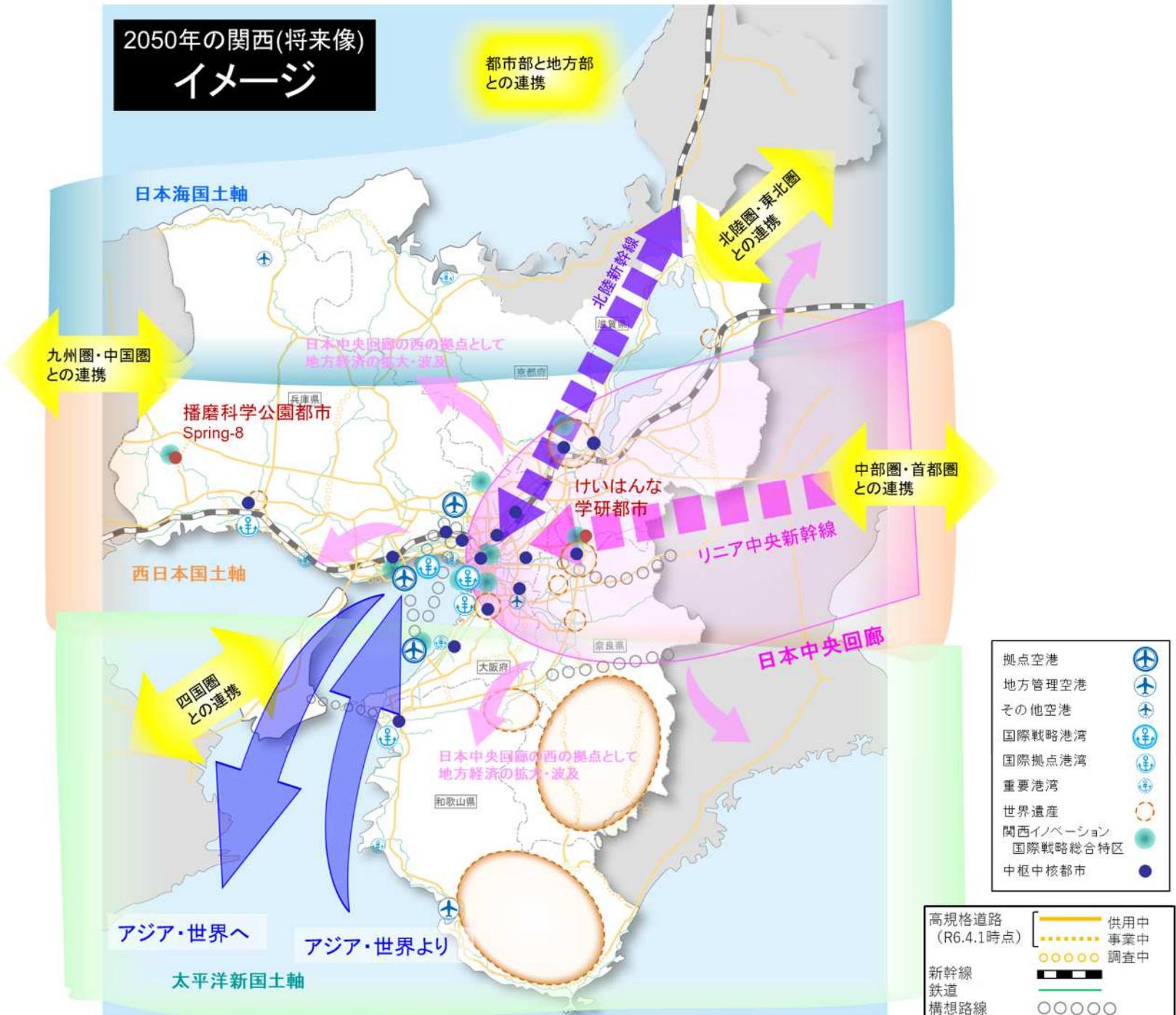
### 【将来像4】 人と自然が共生する持続可能な関西

- 人と自然の共生、カーボンニュートラル・SDGsの実現するグリーン国土の創造に資する圏域

### 【将来像5】 人々を魅了し続ける関西

- 関西特有の歴史・伝統・文化や豊富な地域資源を次世代に継承し、世界の人々を魅了し続ける圏域
- 来訪者を含む全ての人々が、地域の魅力を存分に味わうことができる圏域

# 関西の将来像とその目標・戦略（2）



# 国土軸ネットワークプロジェクト（1）

## 【目的・コンセプト】

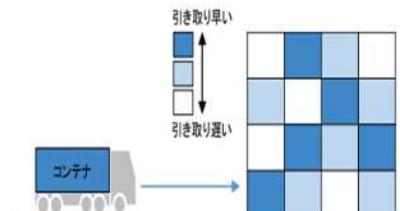
- 日本中央回廊の西の拠点として、世界からのゲートウェイとしての機能を強化
- 陸海空の総合交通体系の高質化により、シームレスな拠点連結型国土を形成



## 国際交通拠点の競争力強化

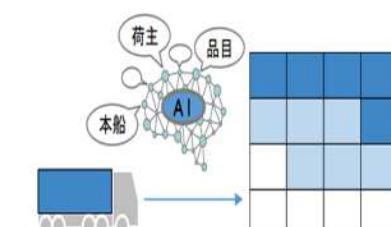
- ・関西国際空港第1ターミナルリノベーションなどの機能強化を推進し、関西3空港における年間発着容量50万回の早期実現を目指すとともに、空港アクセス利便性向上に資する高規格道路及び鉄道などの整備を推進
- ・国際フィーダー航路などを介し西日本各地や東南アジアなどから集約する「集貨」、コンテナターミナル近傍の物流施設の立地促進などにより貨物需要を創出する「創貨」、大水深コンテナターミナルの整備などによる「競争力強化」の3本柱の取組を推進
- ・生産性向上や労働環境の改善を図る「ヒトを支援するAIターミナル」、サイバーポートの構築など港湾におけるDXの取組による利便性・生産性の向上

### 【従来】

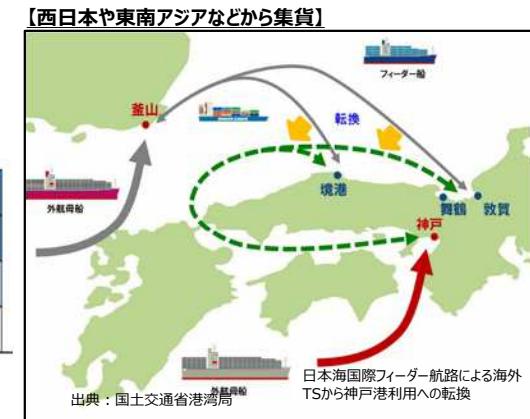


「ヒトを支援するAIターミナル」イメージ

### 【AIシステム】コンテナの適正化



出典：国土交通省港湾局



## アジアとの交流拡大

- ・アジア諸地域との交流拡大を支えるための交通体系を構築
- ・アジアとの国際物流において、複合一貫輸送サービスの利点を享受できるよう、港湾、空港の有効活用、道路、鉄道などのアクセス網の充実を図り、アジアのゲートウェイ機能を形成

# 国土軸ネットワークプロジェクト（2）

シームレスな拠点連結型国土を支える全国的な総合交通体系の構築（交通・物流ネットワークの強靭化）

## （高規格道路ネットワークの高質化）

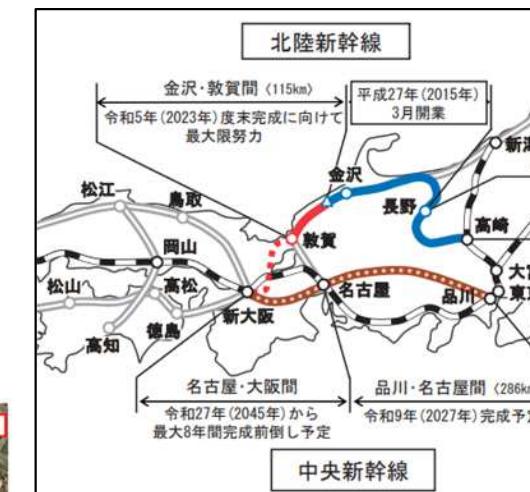
- ・他圏域との主要都市との時間距離の短縮を図る高規格道路ネットワークの強化、安定的な物流を実現する交通モード間の連携強化や、主要な港湾、空港、高速鉄道駅などへのアクセス道路などの重点的・効率的な整備推進
- ・道路空間をフル活用したクリーンエネルギーによる自動物流道路（オートフロー・ロードAutoflowRoad）の構築に向けた検討
- ・近畿圏四環状道路と日本海・西日本・太平洋新国土軸による交流・連携を強化し、海峡部などを連絡するプロジェクトについて長期的視点から取り組む。
- ・海峡間アクセスのための新モーダルシステムなど、新たな価値創出の検討



出典：国土交通省  
「これまでのネットワークの経緯と検証 平成24年4月1日現在」

## （幹線鉄道ネットワークなどの高質化）

- ・リニア中央新幹線について、三大都市圏を結ぶ日本中央回廊の形成及び日本の大動脈のリダンダンシーの確保などのため、全線開業に向けた整備が進められるよう必要な連携・協力を実施
- ・北陸新幹線については、交流圏の拡大及び巨大災害リスクに対するリダンダンシーの確保などのため、未着工区間（敦賀・新大阪間）の必要な検討などを実施 など



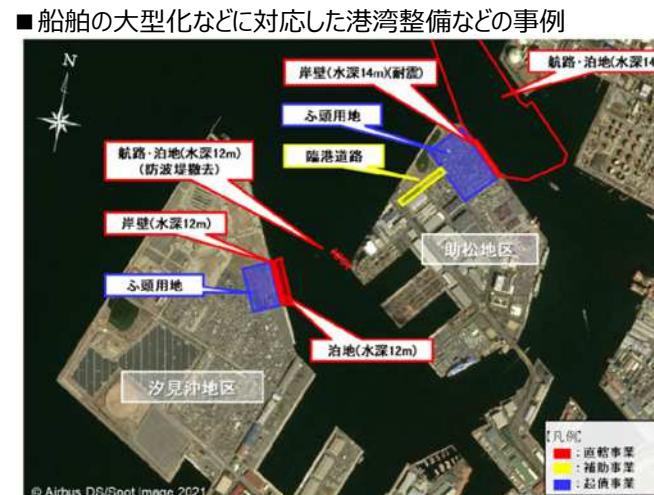
出典：国土交通省 令和5年版交通政策白書

## （国内航空輸送ネットワークの高質化）

- ・空港における乗継利便性の向上、新たな技術を活用した空港施設の高質化や維持管理・更新などの高度化推進および、地方における観光交流の拡大の観点から地方航空ネットワークの維持・活性化

## （海上輸送ネットワークの高質化）

- ・三大湾、北部九州その他の地方の拠点港湾をターミナルとして、太平洋・瀬戸内海・日本海などの産業集積地を相互に連結する西日本を始めとした全国海上輸送網の機能強化
- ・環境への負荷が小さく、エネルギー効率の高い大量貨物輸送が可能な内航船の利用促進および、船舶の大型化などに対応した港湾整備及び荷役効率化のための情報通信技術や自動技術を活用した次世代高規格ユニットロードターミナルの形成



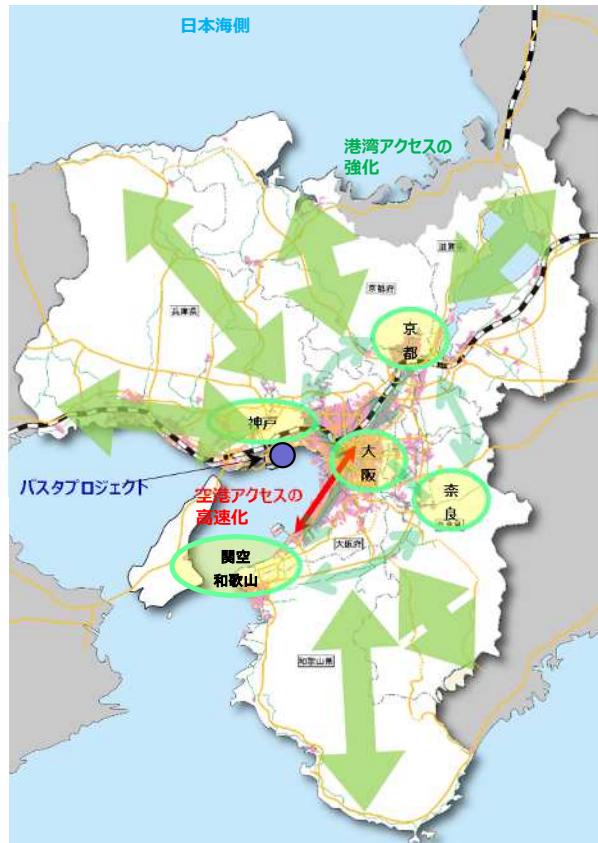
© Airbus DS/Spot Image 2021

出典：近畿地方整備局HP  
「堺泉北港国際物流ターミナル整備事業【再評価】令和5年11月」

# 関西交通ネットワークプロジェクト（1）

## 【目的・コンセプト】

- 圏域内の高規格道路・幹線鉄道・海上輸送などのネットワークの形成や機能を強化
- 地域の活性化や暮らしを支援する地域における交通体系を構築



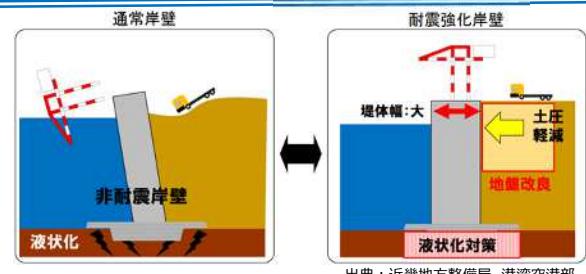
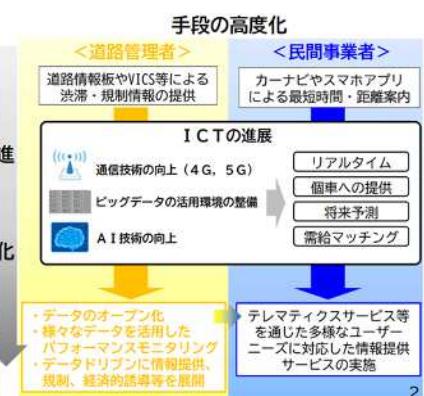
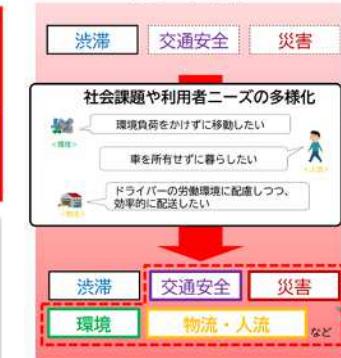
### 関西におけるシームレスな総合交通体系の構築（交通・物流ネットワークの強靭化）

- ・高規格道路と広域道路網を合わせたシームレスなサービスレベルが確保された高規格道路ネットワークの形成・機能向上、リダンダンシー確保の観点を考慮したミッシングリンクの解消や暫定2車線区間の4車線化などの必要な機能向上の加速化、道路システムのDXの取組「xROAD」などによるネットワークの多機能空間への進化
- ・新技術の導入や道路システムに関する幅広い分野でのデータの利活用の促進、道路調査などの高度化・効率化を図る「ITSスポット」などのデジタルインフラ整備の推進、道路交通の効率的な常時把握と民間データとの連携も含めた交通需要マネジメントや交通安全対策など、ソフト・ハード両面からの推進

#### ■「ITSスポット」の整備推進



#### ■ITCマネジメントの推進 目的の多様化



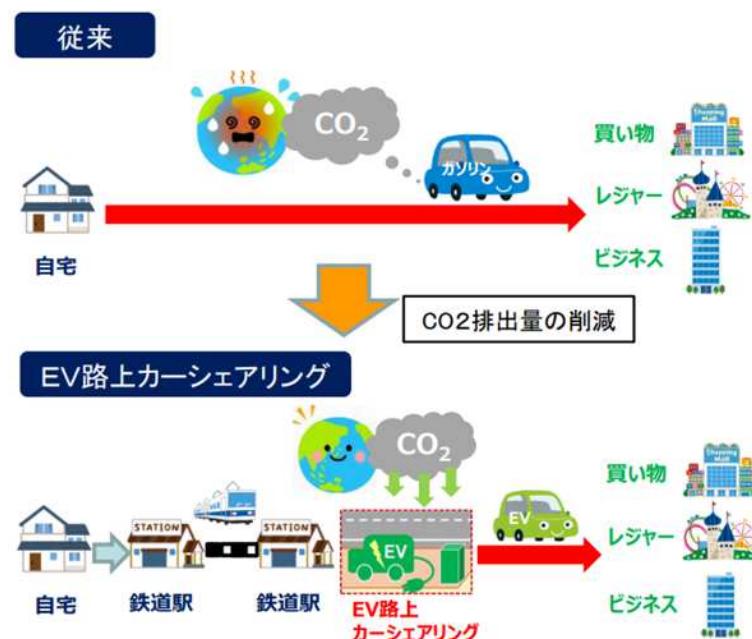
- ・関西における基幹産業の競争力強化や民間投資の誘発、雇用と所得の維持・創出の推進に資する港湾の機能強化を通じた物流ネットワークを充実し、大阪湾域に集荷される農林水産物・食品の輸出促進に資する温度・衛生管理が可能な荷さばき施設整備などを進め、耐震強化岸壁の整備などの実施により、災害発生時における基幹的海上交通ネットワークを維持など

# 関西交通ネットワークプロジェクト（2）

## 地域交通体系の構築

- ・交通DXの推進や、多様な主体との共創・連携強化などにより、利便性・持続可能性・生産性の高い地域公共交通ネットワークへの「リ・デザイン」を進め、地域にある資源（多様な人材、車両、施設）を活用、移動手段の提供が十分でない地域などの、地域の需要に応じた、タクシー、乗合タクシー、公共ライドシェア、日本版ライドシェアなどの提供が持続的な取り組み、自動運転の実証事業や電動車の導入支援など、DXの取組の推進
- ・道路空間を活用しつつ身近な場所に「小さな交通拠点」を整備し、さらに環境の観点で進化させた「EVカーシェアステーション」の取組みを検討
- ・地方部における生活圏人口の維持に不可欠な高規格道路を地域安全保障のエッセンシャルネットワークと位置づけた早期の形成
- ・地域が有する資源や魅力を活かした経済や生活の拠点となる都市間を結ぶ幹線交通ネットワークの強化などの地域の活性化を支援する交通体系の整備、集約型公共交通ターミナル「バスターミナルプロジェクト」の戦略的な展開による交通拠点の形成、既存のバスターミナルや「道の駅」などとネットワーク化、「道の駅」などを交通結節点とした地域公共交通の形成促進
- ・集落地域などの生活圏域での日常生活に必要不可欠な移動や、病院などの重要な拠点への交通の利便性を確保するため道路網の整備、現道拡幅、バイパス整備などによる隘路解消の推進、地理的、自然的、社会的条件が厳しい地域での緊急輸送手段の確保や災害時の避難活動などの迅速化など、生命線となる道路ネットワークの信頼性確保の促進

■ EVカーシェアステーションの取り組み

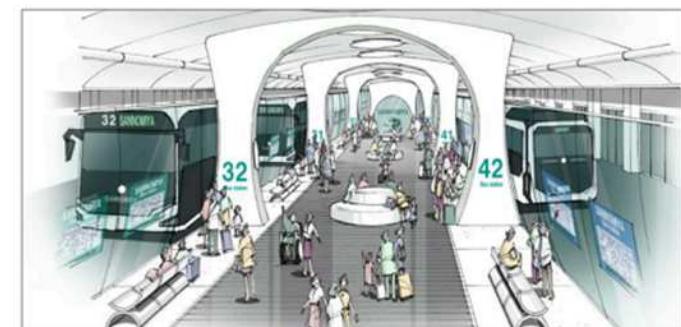


出典：近畿地方整備局資料

■ バスターミナルプロジェクト イメージ



<待合空間のイメージ(2階・3階の吹抜け)>

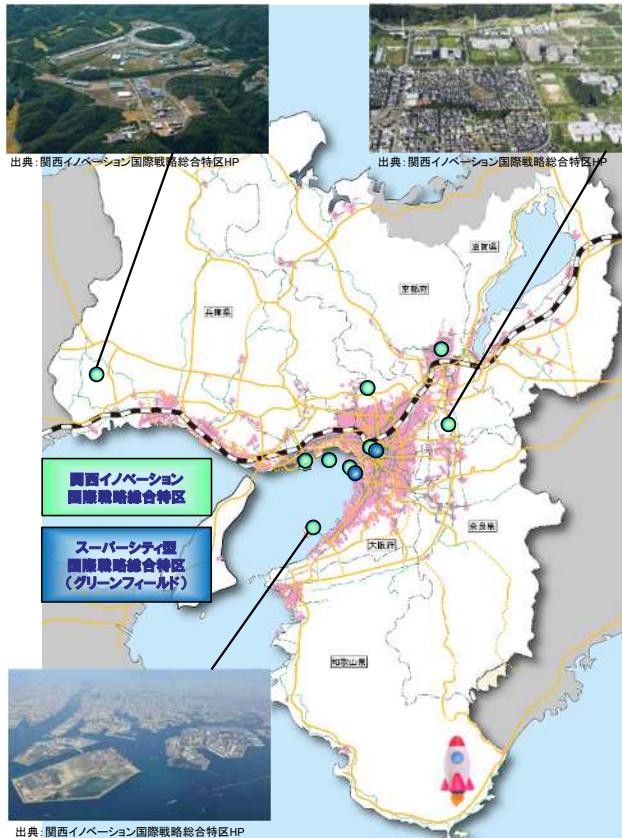


出典：近畿地方整備局

# 関西成長エンジンプロジェクト（1）

## 【目的・コンセプト】

- 将来の関西を牽引する産業や魅力ある新たな成長産業の形成を推進
- デジタル技術の活用などによる地域産業の活性化・稼ぐ力を向上



### 関西イノベーション国際戦略総合特区

ライフサイエンス分野・エネルギー分野で日本の発展・成長を牽引し、アジア市場でのイニシアチブ獲得を目指す区域

### スーパーシティ型国家戦略特区

複数分野の大膽な規制改革と併せ、データ連携基盤を共同で活用して複数の先端的サービスを官民連携により実施する区域

### 大都市圏の国際競争力の強化

・知的対流拠点の整備、外国語対応環境の整備、医療・福祉・介護、教育、商業などの生活サービス機能の集積、良好な住宅の整備などのビジネス環境や生活環境の整備、都市鉄道などの公共交通網の充実や、まちづくりと連携した交通結節点の強化などによる都市内移動環境の高度化などを図るとともに、都市の防災機能の向上を図る「大都市のリノベーション」を推進

### GX・DXを中心とする産業の国際競争力の強化とイノベーションを支える環境整備、科学技術を支える基盤の強化と人材の育成

・ロボット、ライフサイエンス、情報通信、環境、マテリアルなどの知識集約産業や、航空宇宙、燃料電池、次世代知能ロボットなどの次世代産業の成長化を促進  
・技術シーズを有する大学、研究機関やその事業化を目指す企業などの集積、連携により、多様な人材、知識、情報、資金が集まりイノベーションが創出される環境を整備 など

### 海外からの投資や多様な人材を呼び込む環境整備

・国家戦略特区の活用などによるスピード感を持ったインパクトのある規制改革の実行などにより、国際的な立地競争力を強化し、投資環境の魅力を高める  
・スーパーシティ型国家戦略特区の「夢洲」「うめきた2期」においては、万博レガシーの継承も見据え、大胆な規制改革と併せてデータ連携や、移動・物流、健康・医療などの先端的サービスの実現を加速化 など

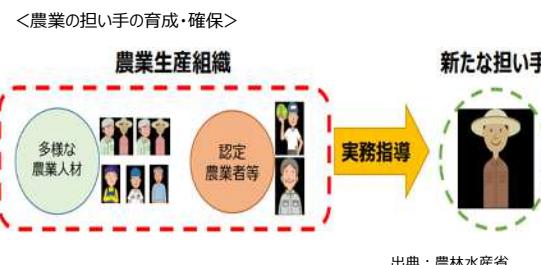
# 関西成長エンジンプロジェクト（2）

## 食料などの安定供給と農林水産業の成長産業化

- ・担い手の育成・確保や農地の大区画化、集積・集約化、スマート農業の導入などにより、国内の農業生産などの増大を図り、食料の安定供給の推進と、国内農業の生産基盤強化を図るとともに、食料などの安定供給に影響を及ぼす様々なリスクへの対応策を検討・実施し、食料安全保障を確立
- ・関西の食文化などの海外グローバルマーケットの戦略的な開拓、生産から消費までのバリューチェーンの構築、農業の担い手の育成・確保、経営所得安定対策などの取組により、農業・食品産業の成長産業化と農業の持続的な発展を推進 など



出典：農林水産省『スマート農業をめぐる情勢について（2024年4月』



出典：農林水産省

## デジタルインフラの整備・運用

- ・光ファイバなどの固定ブロードバンド未整備地域の解消や、5Gによる通信環境の整備、データセンターの分散立地、日本を周回する海底ケーブルを完成 など

## ICT・データ利活用の促進

- ・行政、民間企業などのデータの分野横断的な流通を促進し、これらを活用する環境を整備。特に、人流データなどを計測・取得し、可視化する取組の一層の推進

## デジタルを活用した新たなモビリティの充実

- ・自動運転の実装の加速化に向け、研究開発から実証実験、社会実装まで一貫した取組を行う
- ・空飛ぶクルマの実現に向けて、機体や運航に関する安全基準、操縦者の技能証明、離着陸場に関する基準や交通管理などについて官民での議論を加速させ、大阪・関西万博における運航の開始を目指し必要な環境整備を推進
- ・自動運転車両やサービスロボット、ドローンをトータルにモビリティとして捉え、移動需要に対する新たなモビリティ政策を検討するとともに、社会実装につながるよう必要となるハード・制度の整備も含め、官民での取組を連携 など



出典：関西文化学術研究都市 パンフレット  
「けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム」



出典：大阪府資料  
空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備イメージ

## 情報通信社会の安全・安心の確保

- ・サイバー事案への対応の増強、関連する情報共有などの機能を高め、サイバー空間における事後追跡可能性の確保の取り組みなどにより、強靭なサイバー空間を構築

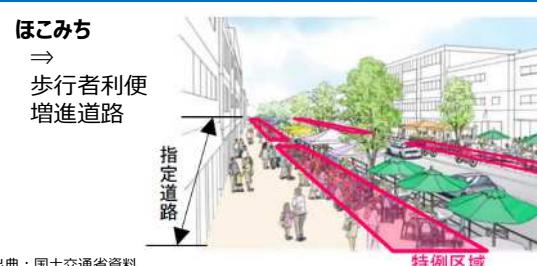
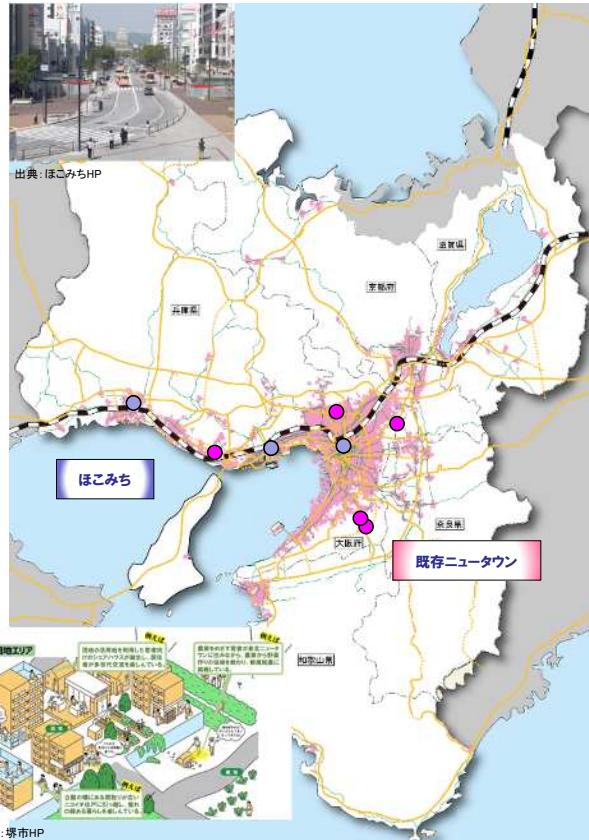


出典：総務省HP  
「関西セキュリティ・ネットワーク」

# 都市の魅力向上プロジェクト（1）

## 【目的・コンセプト】

- 関西の成長・発展を牽引し、快適で暮らしやすい都市機能・環境の再構築
- 人口減少下においても持続可能なまちづくり・地域づくりを支える環境整備の推進



### 都市のコンパクト化と交通ネットワークの確保

- ・居住や都市機能の誘導を進める都市のコンパクト化と拠点間や周辺地域を結ぶ公共交通軸の確保を通じた交通ネットワークの確保の推進
- ・郊外における無秩序な開発の抑制、ハザードエリアから居住誘導区域への移住の促進など、市街地の空洞化を防止
- ・目抜き通りなどにおける「車中心」から「人中心」へと道路空間を再編する地域への支援（ほこみち、まちなかウォーカブル推進事業）
- ・路面太陽光パネルや床振動パネルによるグリーン発電により、プロジェクトマッピングによる歩行者、自転車の整流化
- ・3D都市モデルの全国整備、社会実装を推進するとともに、建築BIM、PLATEAU、不動産IDを一体的に進める「建築・都市のDX」を推進

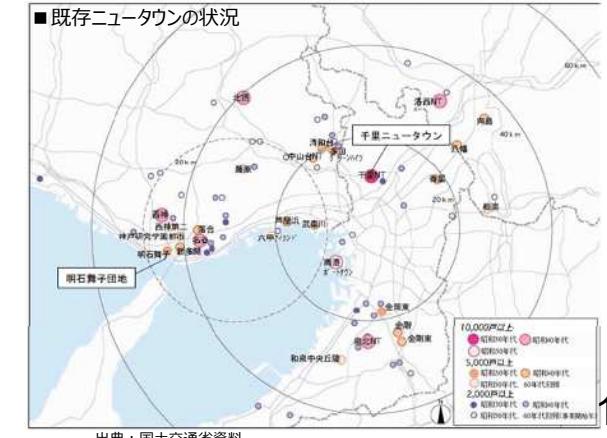


出典：国土交通省資料

### 都市圏郊外部の再生

- ・地域の人材活用の場の創出や、遊休施設などの活用による必要なサービス機能の導入、高齢者など交通弱者の移動手段の確保、老朽化した住宅などストックの再生とバリアフリー化の推進、および住み替え支援の推進などの取組を行い、住民自らまちをつくり育む本格的なエアマネジメントを実施するなど、官民連携による既存ニュータウン再生の取組を推進
- ・サテライトオフィスやテレワークセンターの整備により、都市部の企業が人を派遣又は移住させ、都市部と同様に仕事ができる環境を構築するなど、ライフスタイルの変化に合わせたまちづくりを推進

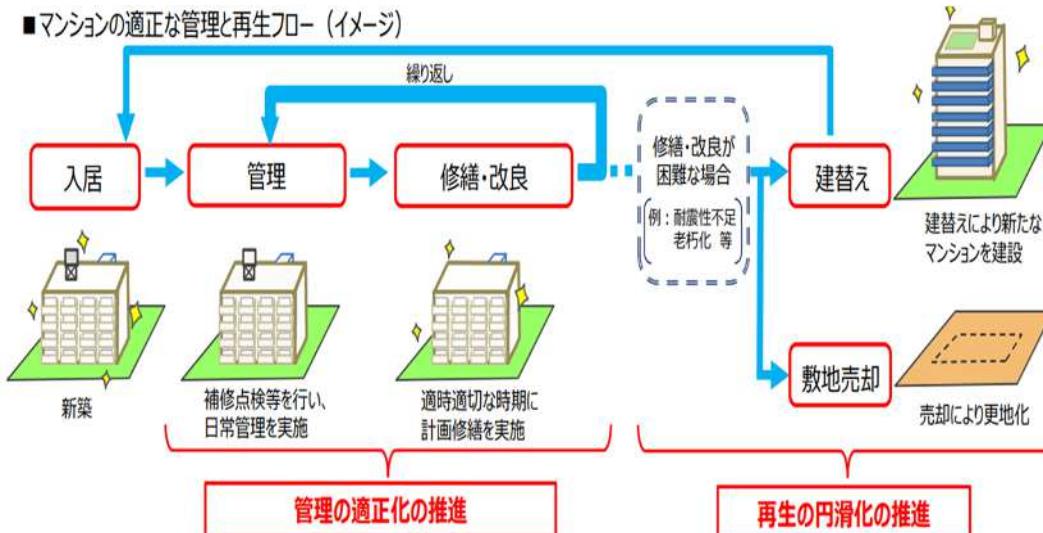
#### ■既存ニュータウンの状況



# 都市の魅力向上プロジェクト（2）

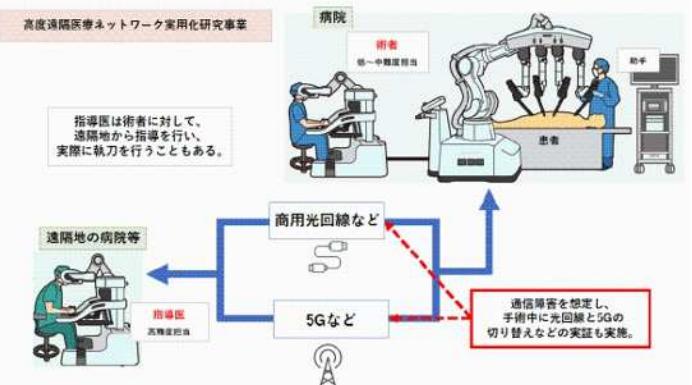
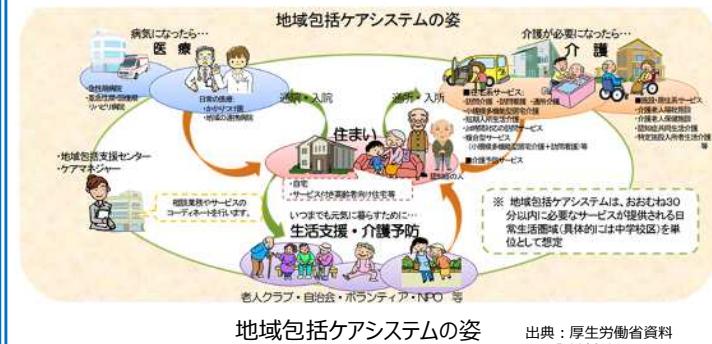
## 安全・安心で快適な居住環境の形成

- ・世代を越えて継承される良質な住宅ストック形成を推進、ライフスタイルに合わせた住宅循環システムを構築
- ・国民一人一人がそれぞれの価値観、ライフスタイルなどに応じた住宅を無理なくで安心して選択できる住宅市場の環境整備
- ・住宅確保要配慮者の居住の安定を図るために、住宅セーフティネットの機能を充実
- ・安全で安心に暮らせる居住環境を確保、ユニバーサルデザインの理念に基づく取組を推進
- ・危険・活用困難な空き家の除却などの取組を加速化・円滑化した土地の有効活用、所有者などの管理や活用に係る意識を醸成し空き家の発生を抑制、新たなライフスタイルや居住ニーズに適合する空き家の活用を促進
- ・管理組合の役員の担い手不足などへの対応を進めるなどマンション管理の適正化を推進、円滑な建替え事業に向けた環境整備などにより、マンション再生の円滑化を実現
- ・歴史的な建造物や伝統的なまちなみ、自然環境と一体となった歴史的風土を保全
- ・かわまちづくり制度の活用などによる魅力的な水辺空間の整備・活用などを推進



## 関西における高齢化への対応

- ・高齢者の社会参加の促進、きめ細かな生活支援、生活習慣病予防や食育の啓発など、高齢者が長く健康に暮らすための健康長寿の取組を推進
- ・人口減少下で医療・福祉・介護分野における人手不足に対応するため、ICT、ロボット、遠隔医療などの新たな技術やサービスの手法の開発、普及

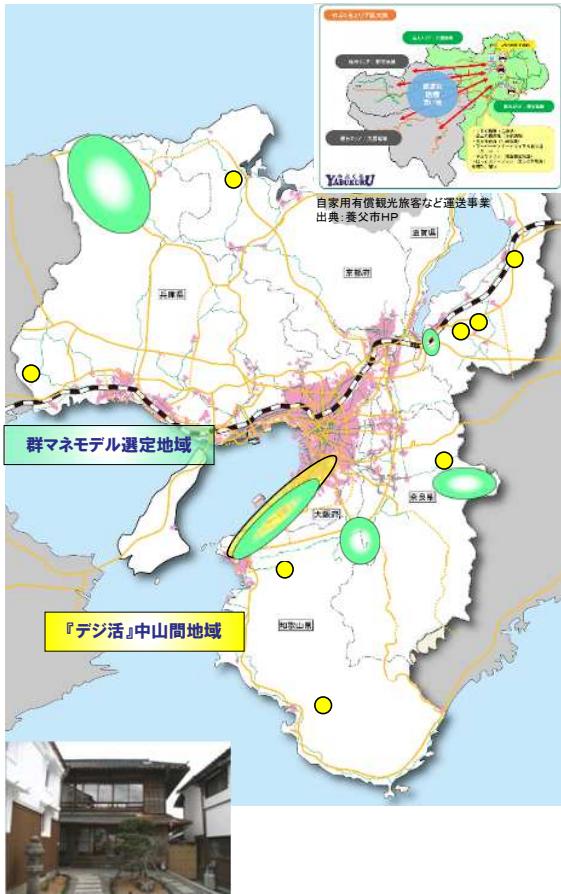


遠隔医療の普及

# 地域活性化プロジェクト（1）

## 【目的・コンセプト】

○「地域生活圏」の形成により関西のどこに住んでも豊かな暮らしを実現



町屋を滞在体験施設として活用  
出典：国土交通省HP

### 地域の課題を解決する地域生活圏の形成

- ・デジタル技術を活用し行政界などに捕らわれずに周辺地域との連携を推進、官民の関係者が協働する「地域生活圏」の形成・活用により、生活するために必要不可欠な官民サービスを始めとした諸機能（稼ぐ・買物・医療・福祉・介護・教育・移動など）を確保
- ・地域生活圏の形成に向けたデジタル田園都市国家構想総合戦略が掲げる地域ビジョンの実現に向けた取組との密接な連携
- ・連携中枢都市圏、定住自立圏など多様な連携・協働の形態の中から最も適切かつ効果的な体制と連携した地域生活圏を形成
- ・地域インフラ群再生戦略マネジメントを検討



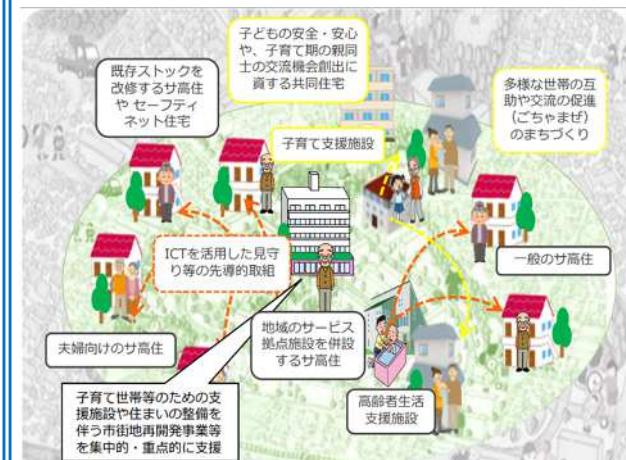
出典：国土交通省 国土審議会計画部会資料「デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成について」

### 働きがいのある仕事への就労と、安全・安心な労働環境の促進

- ・若者が将来に対して希望を持てる、子育てに関わる人の家事・育児などにおいて職場が応援する、障がい者が安心して能力が発揮できる、高齢者が誇りをもって社会参加できる、外国人が共生できるなど、あらゆる立場の人々がいきいきと活躍できる取組を促進

### 誰もが安心して健康に暮らせるまちづくり

- ・親の役割を担う人が仕事と子育てを両立でき、安心して出産、子育てができる環境整備
- ・地域医療構想及び医師確保計画、医療計画の取組を支援、デジタルを活用した遠隔医療を推進、「スマートウェルネス住宅・シティ」の展開や「地域包括ケアシステム」の深化・推進
- ・医療・福祉・介護、防災や防犯、教育などの様々な分野で住民、行政、民間事業者などが活動する場の提供などの支援を推進、コミュニティによる暮らしの安全・安心を確保



スマートウェルネス住宅など推進事業

出典：国土交通省資料

# 地域活性化プロジェクト（2）

## 地方への人の流れの創出

- ・地方にある大学や専門学校などについて、地域の産業などの特徴を活かし魅力を向上させ域外からの進学を促進し、地域に根ざした未来を担うデジタル人材などの育成と輩出の取組を促進
  - ・転職なき移住やデジタル技術を活用して地方創生に資するテレワーク（地方創生テレワーク）などを推進し社会課題の解決や新産業創出に向けた情報・人・技術を集約し人材の育成・交流の活性化
  - ・空き家活用などの二地域居住など環境整備や官民連携協議会を通じた二地域居住などの普及促進と機運の向上
  - ・サービス産業などの地域消費型産業について付加価値生産性の向上に向けた取組を推進
  - ・付加価値を高めた商品を開発し海外を含めた地域外への発信や農畜水産物のブランド力強化など地域資源が持つ価値を地域の創意工夫により最大限に引き出す取組を推進
  - ・テレワークなどの活用により育児や介護との両立が必要な労働者、高齢者などが時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方を可能とした地域の労働供給力を向上
  - ・住民に加えて関係人口の拡大やデジタルノマド人材などの呼び込みも含めた地方都市の振興に関する施策を推進

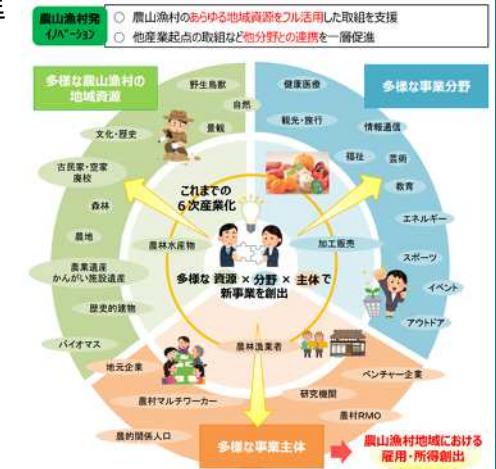


## 美しく暮らしやすい農山漁村の形成

- ・地域特性を活かした複合経営や6次産業化、農泊、ジビ工の活用、農福連携などの活用可能な地域資源を他分野と組み合わせることなどにより新しい事業や付加価値を創出する農山漁村発イノベーションを推進
  - ・農村型地域運営組織（農村RMO）の形成を支援、「デジ活」中山間地域の取組を推進、地域共同活動への支援、情報通信環境などの整備、鳥獣被害対策、農業水利施設などの国土強靭化対策など農山漁村に人が住み続けるための条件整備を推進
  - ・体験農園、農泊、郷土料理などの食文化などの様々なきっかけを通じて、農山漁村への関心を一層喚起しつつ、継続的に農山漁村に関わることができる機会を提供し、農山漁村を支える新たな動きや活力の創出を推進
  - ・農地の集積・集約化に向けた取組を加速化させるため地域内外から農地の受け手を幅広く確保、農地の集積・集約化などを進め、農業の担い手への農地集積・集約化と農地の確保を推進

The diagram illustrates the '6th Industry' model in Nagaoka Village, showing the integration of various sectors:

  - Central Concept:** 'これまでの 6次産業化' (Previous 6th Industry) and '多様な資源 × 分野 × 主体で 新事業を創出' (Create new business by combining diverse resources, fields, and subjects).
  - Key Areas:**
    - 農山漁村発イノベーション:** Focuses on utilizing local resources and promoting collaboration between agriculture, forestry, fisheries, and tourism.
    - 多様な農山漁村の地域資源:** Includes natural resources (wildlife, forests, land), cultural and historical resources (ancient tombs, temples), and agricultural resources (forests, farmland, aquaculture).
    - 多様な事業分野:** Various business fields such as health care, education, information communication, arts, sports, and events.
    - 多様な事業主体:** Various entities involved, including local enterprises, research institutions, and the Rural Community Organization (RMO).
  - Relationships:** Arrows indicate the interconnectedness between these areas, showing how diverse resources from different sectors can be combined to create new business opportunities.
  - Outcomes:** The diagram also highlights employment and income creation in the Nagaoka Village area.



## 自然や景観の保全及び多面的利活用による地域の活性化

- ・地域資源の保全・活用により観光振興や産業・雇用の創出、都市との交流拡大などに取り組むことで、豊かで活力ある地域づくりを促進
  - ・古民家の保全及び再生により地域らしい景観を保全・創出、宿泊施設や住宅として活用



# 関西強靭化・防災連携プロジェクト（1）

## 【目的・コンセプト】

- 災害時にも社会経済活動を持続するため、「ヒト・モノ・カネ・情報のネット」を強化。  
首都圏のバックアップ機能も担う。
- 地域力を結集・発揮し、ハード・ソフト一体の諸施策を行うことで災害対応力を強化



## 安全な農山漁村の実現

- ・土砂災害防止施設・治山施設の整備、孤立を防止するネットワークの保全、孤立における非常用通信設備の整備、より安全な地域への居住などの誘導などを推進
- ・基幹的農業水利施設、漁港施設などの耐震・耐津波化や波浪対策、農業水利施設の整備、治山対策などを推進



## 洪水・内水・高潮・土砂災害対策

- ・国、府県、市町村、地域の企業、住民など、あらゆる関係者が協働して、将来の自然災害リスクに適応したハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策を推進（流域治水の推進）
- ・各河川の状況に応じた治水計画の見直しや特定都市河川の指定など、流域全体の対策を推進
- ・気候変動の影響を踏まえた海岸保全基本計画の見直しを推進
- ・関係機関が連携して既存ダムやため池の洪水調節機能の強化、水田などによる雨水貯留機能の活用、雨水貯留浸透施設などの整備、森林整備・治山対策などを推進
- ・粘り強い構造の海岸堤防、漁港施設などの整備、水門、陸閘などの自動化や遠隔操作化を推進
- ・砂防堰堤などの整備や土砂災害警戒区域などの指定など、ハード・ソフト一体となった土砂災害対策を推進など

## 地震・津波対策

- ・河川・海岸保全施設・港湾施設の整備、耐震化、嵩上げや液状化対策、緊急輸送道路の橋梁や上下水道施設の耐震対策、土砂災害対策及び防災公園や津波避難施設の整備を推進
- ・避難路・避難施設の整備、避難経路の設定や、ハザードマップの周知などハード・ソフトの施策の組み合わせによる津波防災地域づくりの推進
- ・密集市街地対策、住宅・建築物の耐震化を推進 など

## 災害時における交通機能の確保

- ・高規格道路のミッシングリンクの解消や暫定2車線区間の4車線化を推進
- ・緊急輸送道路などにおける橋梁の耐震補強や法面対策、無電柱化を推進
- ・港湾BCPの充実、航路啓開体制の構築、サイバーポートの活用や災害時の支援物資輸送拠点などとしての港の機能を最大限活用する取組を推進 など

# 関西強靭化・防災連携プロジェクト（2）

## 戦略的メンテナンスの実施

- ・インフラ長寿命化計画（行動計画）を適切に見直し、予防保全型メンテナンスへの本格転換に向け、修繕・更新などの集中的な対策を実施
- ・市区町村における財政・体制面の課題などを踏まえ、複数・広域・多分野のインフラを群として捉え、官民連携手法の活用など、戦略的にマネジメントする仕組みを構築
- ・メンテナンスの高度化・効率化を図るため、新技術・デジタルの活用を推進 など



ドローンによる損傷把握



橋梁・トンネルの点検支援技術

出典：国土交通省資料

## 地域防災力の向上

- ・最大クラスの洪水、内水、津波、高潮に関する浸水想定及びハザードマップを作成し、災害リスク情報を共有
- ・PLATEAUなどの3D都市モデルを積極的に活用した防災教育や避難訓練・啓発活動の推進により、住民の防災意識を向上
- ・「道の駅」の防災拠点化の取組を進めるとともに、地域住民の緊急避難の場や最終避難地、防災拠点などとなる公園、緑地、広場などの整備を推進 など

## 広域連携体制の整備

- ・大規模災害発生時の備えとして広域防災拠点の機能強化を推進。
- ・緊急消防援助隊、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)などの体制を整備し、これらの連携強化のための訓練実施により、災害対処能力を向上
- ・CCTVや交通ビッグデータの活用により、災害時の交通マネジメントを展開 など



遠隔操作式重機を用いた復旧支援



防災ヘリ「きんき号」

出典：国土交通省資料

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の主な支援内容

## エネルギー・産業の強靭化

- ・産業設備の耐災害性向上のための取組を促進し、産業及びサプライチェーンを支えるエネルギーや水の供給、物流基盤などの災害対応力を強化
- ・コージェネレーション、燃料電池、再エネ、水素エネルギーなどの自立分散型エネルギーの導入を推進

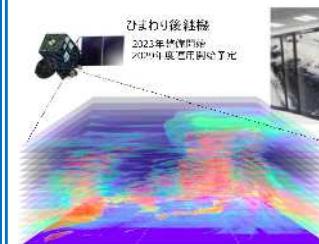


出典：環境省資料

地産地消の分散型エネルギーシステムのイメージ

## 新技術・デジタルを活用した防災力の強化

- ・二重偏波気象レーダーの導入、水蒸気観測などの強化、次期静止気象衛星の整備及び観測データの利用のための技術開発や、本川・支川一体となった水位予測の実施など、洪水予測技術の開発などを促進
- ・CCTVの整備拡大にあわせて、AIによる画像解析で停止車両などを自動検知する「異常検知システム」の導入を推進
- ・防災アプリなどの活用により、災害情報を住民などにわかりやすく発信
- ・災害現場において被災した防災インフラの機能を早期復旧するため、自動化・遠隔化・ICT施工技術の普及促進や人材・資機材を確保 など

出典：  
国土交通省資料

ひまわり後継機と気象庁スーパー・コンピュータシステム



出典：国土交通省資料

## 首都圏の有する諸機能のバックアップ

- ・首都圏が大規模な被害を受けた場合に、政府機関や首都圏に本社がある民間企業などのバックアップ機能を関西で構築していく取組を推進
- ・リニア中央新幹線の開業などによる日本中央回廊の形成により、首都圏との人流や物流の多重性を確保するとともに、官民による平時からの首都圏とのデュアルオペレーション体制の構築を促進

# GXプロジェクト（1）

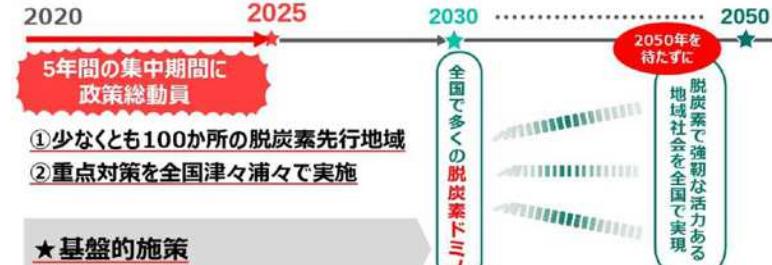
## 【目的・コンセプト】

- 次世代エネルギーに対する可能性を秘めている関西圏のポテンシャルを活かす
- 戦後における産業・エネルギー政策の大転換を図るGXを加速



### 再エネの導入促進、活用拡大と分散型エネルギーシステムの構築

- 地熱、水力、バイオマス、太陽光、風力などの再エネについて、地域の生活環境・自然環境や景観などにも十分配慮した上で、最大限の導入促進、活用拡大
- 木質バイオマス、下水道バイオマス、中小水力、太陽光、小規模地熱発電、再エネ熱（太陽熱、地中熱、温泉熱、下水熱など）などの活用推進
- コーポレーションや下水熱などの都市廃熱の利用の推進
- エネルギー管理について、省エネの観点も含め高度化に向けた取組を推進
- 道路に付属する施設の空間を有効活用した太陽光発電施設の設置推進
- 道路本体の空間、特に歩道路面を活用した太陽光パネルの設置についても検討



地域脱炭素ロードマップ

出典：環境省資料  
「地域脱炭素の取組における官民連携の推進」

### 循環型社会の形成や徹底したエネルギー効率の向上による環境への配慮

- 業務・家庭、運輸、産業の各部門における省エネを推進
- 地球温暖化対策計画に基づき、再エネの最大限の導入、ライフスタイルの変革など、あらゆる分野で取組を推進
- カーボンリサイクルのコスト低減、社会実装を進め、化石燃料の効率的な利用や脱炭素に向けた取組を推進
- 地域が主体となって、地域内外の多様な主体と協働して環境・社会・経済課題を同時に解決していくローカルSDGs事業を次々と生み、育て続けられる自立した地域をつくり、そうした地域同士が支え合うネットワークを構築する地域循環共生圏の取組を推進
- 「道の駅」への充電施設の設置推進、道路本体の路肩を活用した充電施設の設置、路面給電施設の設置についての検討 など

# GXプロジェクト（2）

## 地球温暖化の緩和と適応に向けた取組など、地球環境問題への対応

- ・エリートツリーなどを活用した再造造林などによる成長の旺盛な若い森林の造成など森林吸収源対策を強力に推進
- ・海域において藻場・干潟などや生物共生型港湾構造物といったブルーアイノフラを拡大し、ブルーカーボン生態系の保全・再生・創出を推進
- ・気候変動及び多様な分野における気候変動影響の観測、監視、予測及び評価並びにこれらの調査研究を推進。あわせて、観測・監視技術や予測・評価技術の高精度化、効果的な適応技術の開発なども推進
- ・地球温暖化に関して、各主体の気候変動影響に対する理解と気候変動適応の取組を促進とともに、適応策の実施を支援
- ・「みどりの食料システム戦略」などに基づく、農林水産業のCO<sub>2</sub>ゼロエミッション化や、農地土壤炭素吸収源対策の推進などによる持続可能な食料システム構築を推進



## エネルギーの効率的かつ安定的な供給及び利用のための環境整備

- ・エネルギー源ごとの特徴を踏まえ、供給の安定性やコスト、環境適合などにおいてバランスの良い供給構造の実現に向けたインフラ整備を推進
- ・再エネ導入拡大などに向けて電力ネットワークを次世代化していくため、広域連系系統のマスタープランに沿った取組を推進
- ・脱炭素型荷役機械などの導入などによる脱炭素化に配慮した港湾機能を高度化し、水素・燃料アンモニアなどの受入環境の整備などを図るカーボンニュートラルポート（CNP）を形成
- ・関西圏におけるSAF燃料製造などの持続可能な産業への転換による国際競争力の強化

## 水素社会の実現に向けたインフラ整備

- ・水素の製造から貯蔵、輸送及び利用にいたるサプライチェーンの構築に向け、長期的かつ総合的なロードマップに基づき着実に技術開発や低コスト化の取組を推進
- ・水素エネルギー利活用の促進に向け、需要拡大や産業集積を促す拠点設備支援を含む、大規模な制度整備に取り組む
- ・関西企業の水素関連産業への参入促進に向けた検討を推進
- ・FCVの普及に向け、水素ステーションの整備を促進



液化水素、メチルシクロヘキサン（MCH）の大規模水素サプライチェーン（イメージ）

みどり・水・生き物の共生プロジェクト（1）

#### (目的・コンセプト)

- 自然環境の保全・再生推進の取り組みやグリーンインフラの社会実装による持続可能なまちづくり構築を推進



- ・瀬戸内海において、栄養塩類の偏在が確認されていることから、特定の下水処理場における栄養塩類の能動的運転管理の実施を検討するとともに、海底耕耘を実施する。また栄養塩類の不足が指摘されている海域では、ため池の池干し（かいぼり）を実施するなど、海域への栄養塩類供給を実施する。

多様で健全な森林の整備及び保全の推進と森林づくり、木材利用への理解醸成

- ・森林経営計画や森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画の作成などによる森林の経営管理の集積・集約化を進め、急傾斜地などにおいて公的な関与による整備及び保全を推進
  - ・森林整備の担い手については、新規就業者の確保や定着に向け、労働環境の改善や労働安全対策の強化などの取組を推進
  - ・企業・NPOなどのネットワーク化、緑化行事の開催を通じた普及啓発活動の促進に努め、民間投資や「緑の募金」による森林づくりを後押し
  - ・「森の国」づくりにつながる木材利用の促進に向け「木づかい運動」を展開 など

## 健全な水環境の維持または回復の推進と海洋・海域の保全及び利活用

- ・地域性が極めて高い地下水において、地下水の利用や挙動などの実態把握とその分析、可視化、水量と水質の保全、涵養、採取などに関する地下水マネジメントを、地方公共団体などの地域の関係者が主体となり、連携して取り組む



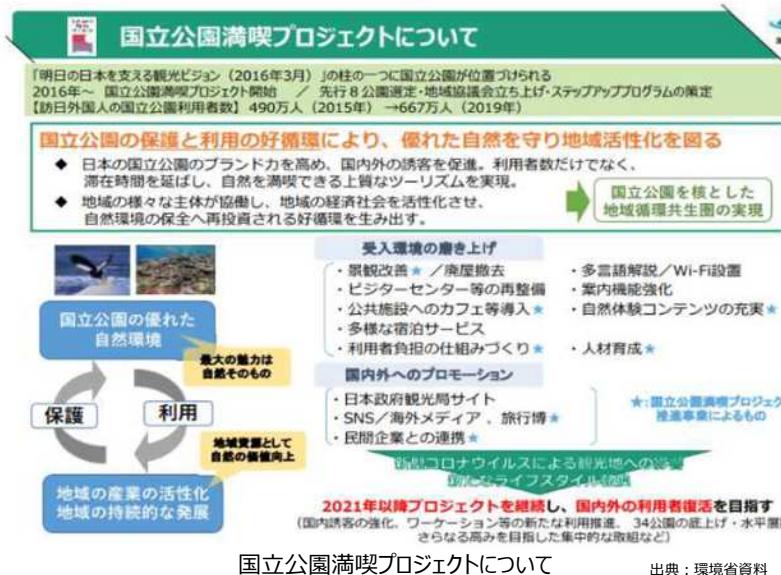
# 人と野生生物などの関係の適正化と生物多様性の社会への浸透

- ・絶滅危惧種の保全を推進とともに、多様な主体と連携した取組を促進し、希少種を地域のシンボルなどとして保全
  - ・ニホンジカ、イノシシの捕獲事業を強化・支援、将来の鳥獣捕獲の担い手育成・確保を図る
  - ・外来種の侵入の未然防止や侵入先での防除を進める
  - ・普及啓発活動などを通じて 我が国の自然の豊かさを実感できる機会を提供とともに、森林、河川、海、公園などのフィールドを活かした体験や教育機会の拡大を図る など

# みどり・水・生き物の共生プロジェクト（2）

## 持続可能な国土管理による美しい景観形成

- 地域資源である国立公園などの優れた自然の風景地及び地域固有の生態系や自然に根ざした地域の文化を活用し、人の活動と自然環境との適切な関係の再構築を図り、持続可能な国土管理を通じた美しいランドスケープを形成
- 人と自然との良好な関係を維持し、地域の伝統や文化を守るために、農地、森林などの適切な保全及び整備など、持続可能な国土管理に向けた努力を続け、田園地域及び里地・里山においては、農林水産業を通じた美しい景観の形成を図る

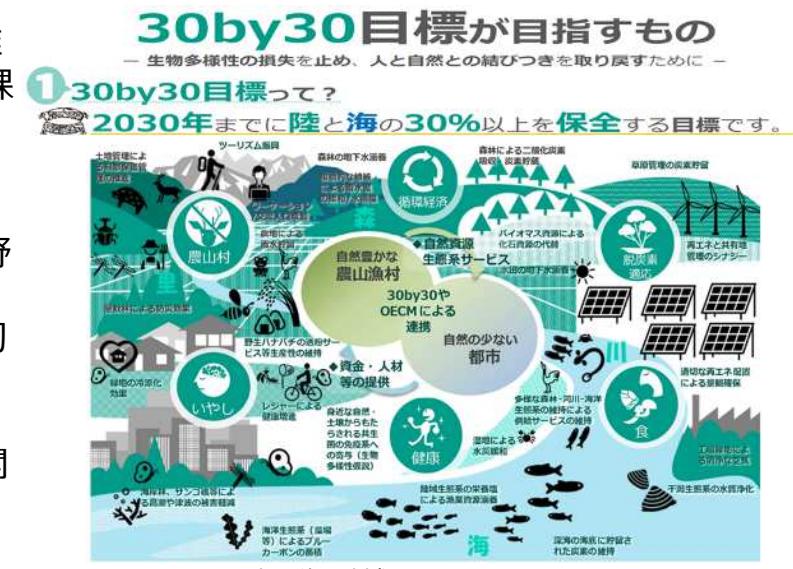


## 都市環境の質的向上

- 都市部においては、エネルギー消費量の抑制、保水力の向上、風の通り道を確保する観点などからの水と緑のネットワークの推進などによって環境負荷の少ない都市構造を形成
- 土壤汚染の適切な調査や対策及び汚染土壤の適正な処理を行うことにより、汚染土壤を適切に管理

## 30by30目標などを踏まえた自然環境の保全・再生・活用

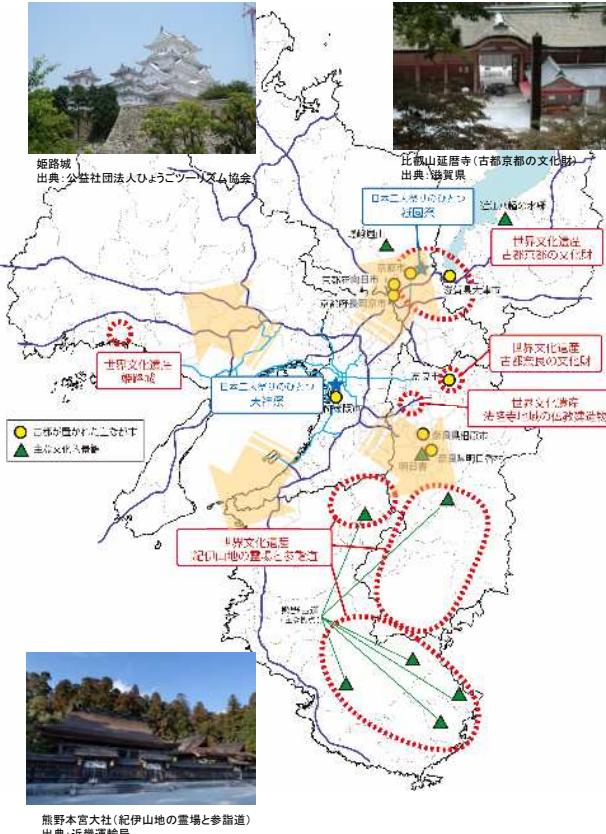
- 国立公園などの保護地域の拡張と管理の質の向上及びOECMの設定・管理を推進。それらの健全な生態系を活かして、気候変動や自然災害などの多様な社会課題の解決につなげる自然を活用した解決策（NbS）の取組を推進
- 国土全体にわたって自然環境の質を向上させていくため、広域的な生態系ネットワークの基軸である森・里・まち・川・海のつながりを確保
- 自然環境が有する多様な機能を積極的に活用するグリーンインフラの取組を、分野横断・官民連携により推進
- これまでに人為的な管理がなされた土地を自然的土地利用へ転換するには、適切な初期投資などを行うことが必要であり、具体的な方策の確立に向けた考え方や手法について検討
- 都市の緑地に関しては、緑の基本計画を活用するとともに、都市の将来の姿との関係性を明確にした上で取組が進められるよう緑の基本計画と立地適正化計画の連携を図り、自然・田園環境再生についても取り組む



# 人々を魅了する関西プロジェクト（1）

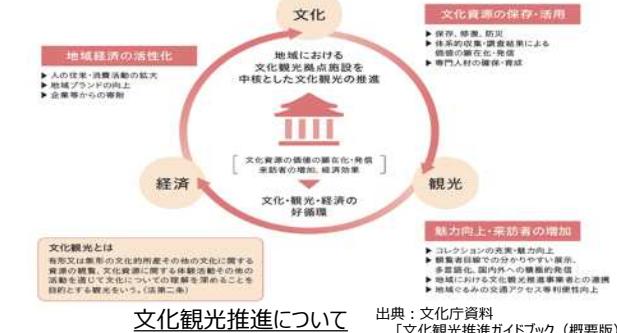
## 【目的・コンセプト】

- 豊富で個性豊かな歴史や伝統などの文化資産を保全又は創出
- 大阪・関西万博を契機とし持続可能な観光、消費額拡大、地方誘客を推進



### 個性豊かな地域文化の保存、継承、創造、活用など

- ・文化の理解を深めることを目的とする観光（文化観光）を推進、地域での文化観光を推進するため、文化観光拠点・地域の整備を促進
- ・まちづくりと一体となった水辺空間の整備・活用を進め、地域資源としての魅力向上に向けた取り組みを推進
- ・国内外における和食の普及及び拡大に係る取組や地域固有の多様な食文化を次世代に継承する取組を推進、魅力を効果的に発信する取組を推進 など

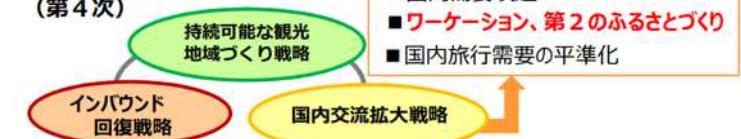


出典：文化庁資料  
「文化観光推進ガイドブック（概要版）」

### 国内交流の拡大

- ・地域資源を活用した第2のふるさとづくり（何度も地域に通う旅、帰る旅）などの新たな仕掛けづくりや将来にわたって国内外からの観光旅行者を惹きつけ、地域の新たな観光資源の形成に向けた支援により、反復継続した来訪者などの新たな交流市場の開拓を推進 など

### 観光立国推進基本計画（第4次）



### 第2のふるさとづくりについて

出典：観光庁資料  
第7回「第2のふるさとづくりプロジェクト」に関する有識者会議

### 地域の個性を活かした魅力ある景観の形成

- ・歴史文化の活用によるまちづくりの推進、農用地の適切かつ持続的な保全、魅力ある水辺空間、都市公園などの整備など魅力ある景観の形成を推進
- ・個性豊かで多彩な景観を有する場所を発掘し、地域の魅力を発信していくことで良好な景観形成を推進し、観光資源として活用

### 文化芸術やスポーツ活動への参加機会などの充実

- ・地域文化や文化芸術の継承者となり得る子供たちが文化芸術活動に参加し、体験・鑑賞する機会を充実することなどで、地域コミュニティの活性化、地域の伝統文化を次代に継承し、将来の担い手の確保
- ・地域における文化力の向上とともに充実感を持った生活の実現を図るため、住民が質の高いスポーツ・文化芸術に対して鑑賞、参加、創造する機会を確保、ワールドマスターズゲームズ2027関西への参加・誘客促進のための情報発信 など

# 人々を魅了する関西プロジェクト(2)

## 地域の文化芸術を支える 環境整備

- ・地域文化振興に向けての機能強化や振興拠点の整備を推進するため、地方公共団体における文化芸術創造拠点形成、地域の中核となる劇場・音楽堂などの活性化や劇場・音楽堂など間の連携・協力の促進を一体的に実施し、各地域における関係機関・団体間のネットワーク化・連携強化を推進

## 新しい日本文化の創造・発信

- ・彦根城、飛鳥藤原の宮都とその関連資産群の登録に向けた取組の推進、観光資源として積極的に国内外への発信や活用
- ・官民が連携し、特に地方が主体となって海外に向けて関西の魅力を伝えるコンテンツの制作や継続的に発信する取組とそれらを担う人材の育成を進めるとともに関西の魅力を効果的かつ戦略的に発信
- ・文化財を保全・保存しながら、通常は使用できない夜間貸切の活用など特別な体験の提供などにより、観光資産としてのより有効な活用と高付加価値化の取組を推進
- ・「はなやかKANSAI」による多様な文化資源のPRなどに取り組み、国内外に広域のインバウンド振興・情報発信

## 消費額拡大・高付加価値化を重視したインバウンドの推進

- ・高付加価値旅行者の方を誘客、消費額拡大に向けた高付加価値なコンテンツの充実、地方直行便の増便や大都市から地方への周遊円滑化などによるインバウンドの拡大に向けた集中的な取組を実施
- ・訪日クルーズが就航する神戸港、大阪港、舞鶴港、和歌山下津港などにおいて受入環境の整備に取り組み、訪日クルーズ寄港促進の取組を推進など



観光の今後の方向性

出典：観光庁資料

## 持続可能な観光地域づくり

- ・観光地におけるオーバーツーリズムの未然防止・抑制のため、公共交通利用の分散化、手荷物対策などを地域の関係者の協議などに基づき実施、デジタル技術などの活用した過度な混雑などの防止・旅行の質の向上、キャッシュレス決済などを推進
- ・道路渋滞情報などの提供による行動変容や観光ルート案内により道路空間や観光地の混雑緩和、交通集中が起こる期間を中心に交通の分散や「うろつき交通」の抑制を図るためにAI技術を活用した情報提供を行うシステムの導入を検討
- ・万博レガシーを活用し、今後の観光マネジメントとして取組の拡充を検討・乗合タクシー・公共ライドシェア・日本版ライドシェアなどの仕組みを利用した観光客及び地域住民の交通確保
- ・アクティビティ、アート、食、国立公園、ジオパーク、農泊など、環境負荷が少ない形で、地域における自然や文化への理解増進と消費額拡大が期待できる分野の取組を強化など



オーバーツーリズム未然防止・抑制にむけた取組

出典：観光庁資料

## 地方誘客の促進

- ・宿泊施設や観光施設などの改修などのハード面の取組に加え地域の観光資源の掘り起こし、コンテンツの充実・造成、キャッシュレス化や、シームレスな予約・決済が可能な地域サイトの構築などの観光地における面向的なDX化によるソフト面の取組を推進し、地方部への誘客を促し、滞在・宿泊日数の増加と観光地・観光産業の再生・高付加価値化を推進

# 他圏域との連携プロジェクト

関西の発展を支える社会基盤整備を推進していくために、国土軸ネットワーク / 関西強靭化・防災連携 / 世界を魅了する関西について円滑かつ効果的に進捗が図られるよう、以下に示すプロジェクトにおいて他圏域との連携を推進

## 国土軸ネットワーク

- 日本中央回廊の西の拠点として、アジアを始め世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、その効果を圏域内はもとより他圏域へと波及・拡大させるため、道路ネットワーク、幹線鉄道ネットワーク、海上輸送ネットワークの強化が着実に進められるよう、国、地方公共団体などにおいて必要な連携・協力を実施
- 西日本広域圏の地域活力の創出のため、近畿圏四環状道路と日本海・西日本・太平洋新国土軸による交流・連携を強化。海峡部などを連絡するプロジェクトについては長期的視点で検討
- 海上輸送ネットワークにおいては、国際競争力のある都市圏を形成し、その効果を圏域内はもとより他圏域へ波及・拡大するため、広域からコンテナを集貨する国際フィーダー航路、国際フェリー、RORO船などによる高速海上輸送、航空貨物輸送などを駆使した複合一貫輸送サービスなど西日本を始めとした全国海上輸送網の機能強化を推進

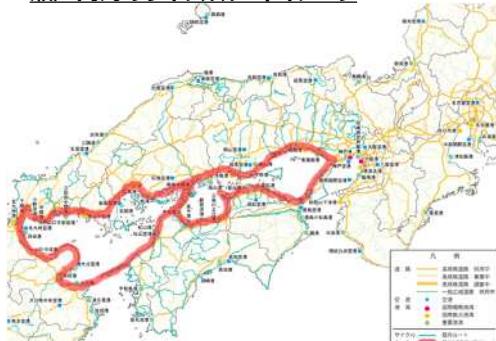
## 関西強靭化・防災連携

- 大規模地震などにより広域かつ甚大な災害が発生した際、被災地の応急活動及び復旧・復興活動を効果的に実施するため、隣接圏域と相互応援できる体制整備を進める。そのために必要な高規格道路ネットワークや幹線鉄道ネットワークの整備を進めていくとともに、海路における航路啓開体制の構築など災害対応力の強化を推進
- 隣接圏域には原子力発電所が立地しており、事故や被災時における影響の大きさを踏まえ、災害時の住民避難経路の確保などについて北陸圏との連携を推進
- リニア中央新幹線の開業などによる日本中央回廊の形成や北陸新幹線の全線開業のインパクトにより首都圏や中部圏、北陸圏との人流や物流の多重性・代替性を確保できるようになることから、大規模災害に強い国土を形成するため、政府機関や民間企業のバックアップ機能の構築を進めるなど、平時からのデュアルオペレーション体制の構築を他圏域との連携を推進

## 世界を魅了する関西

- 日本を代表する「ナショナルサイクルルート」に指定されている「太平洋岸自転車道」のさらなる活性化を推進するため、中部圏、首都圏と連携。また西日本側のサイクリツーリズムの交流拡大によるサイクルルート周辺の活性化のため、既存のサイクルルートを活用した瀬戸内海を一周するルートについて中国圏、四国圏、九州圏と連携を検討
- インバウンド消費額の拡大を図るため、地方誘客に資する観光コンテンツの造成・連携や、航空ネットワーク・訪日クルーズの回復などに向けた取り組みについて他圏域との連携を推進

瀬戸内海のサイクルルートイメージ



航空ネットワークの連携イメージ

